

Genius English Writing Revised

「教科書ノート」を活用して力を引き出す



福田浩子

◆勉強方法がわからない生徒たち

多くの生徒が英語に苦手意識を持っている学校では、その生徒達を英語に向き合わせ、力をつけさせるために、教員が日々悪戦苦闘している。私もその一人であるが、ここでは、*Genius Writing* を使った私の小さな試みを紹介したい。何かのヒントになればと思っている。

英語が不得意な生徒の口からは、「文法はわからないし、英語の勉強方法もわからない」という言葉をよく聞く。彼らの不安を取り除き、授業内容だけでなく、勉強の進め方も授業を通して会得させることが重要である。彼らに適した教科書は、基礎的な文法を復習しながら、その上に英語力を積み上げていくものである。少し頑張ればこなせそうな量で、しかも、力のついてきた生徒にも合うような発展的な内容も含まれているものがよいと考え、*Genius Writing* を選んだ。

◆達成感をあたえるノート作成法

彼らの自宅学習に必要な物は、適した教科書と授業の記録である。プリント教材という方法もあるが、私はノートを作らせている。

まず、*Genius Writing* の各課の導入部分である短い英語で書かれた文章をノートの左側のページに、数行空けながら、正確に写させる。そして、授業の最初で音読した後に、教員の説明を聞かせながら、ノートの重要な文に赤線を引かせ、メモを入れさせる。*Genius Writing* には、日本語で意味も載っているの、意味の説明にあまり

時間を割く必要がないのが教員にとっては便利である。ただ、生徒の中には、意味が載っていることで安心し、英語も飛ばしてしまう者もいる。英語に注目し、音と文字の両方で覚えるために、一度しっかりノートに書き写すのである。

それが終わったら、教科書を閉じ、ノートの右側に、自分で考えて（思い出して）、その英文の意味を日本語で書かせる。最後に、教科書を見ながら、自分の日本語が合っているかどうかを点検させる。

そうやってできたノートは、それだけで暗記用のテキストになる。自宅では日本語のページを開き、別の紙に英語を書いてみるという練習もできる。英文に赤線が引かれ、授業のメモも入っているので、復習する時にも便利である。

Study Points の例文も同じように、ノートに記録させる。Let's Check! も Exercises も全て、ノートに答えを書かせていく。その際も、英文を書かせながら様々な解説を加えていくので、必ず、数行空けながら、授業のメモを取らせるのである。教科書には何も書かせない。ノートに記録をつけていく習慣が無かった生徒にとっては初めての経験である。

そのノートを提出させ、点検・助言をすることを繰り返し行い、定着を図る。慣れてくると、ノートに様々な工夫を凝らしていく生徒も現れる。1年間に2冊以上のノートを使ったと自慢気に話している生徒の顔を見ると、少しは達成感を持たせられたのではないかと思う。

(ふくだ ひろこ・都立鷺宮高等学校教諭)